

(様式1)

福島県地域で支える子育て推進事業 企画提案書

提出日を記入

令和4年6月20日

住所又は所在地 ○○郡○○町○○字○○1
補助事業者等 名称 ○○地域子ども食堂○○
氏名又は代表者の氏名 代表 ○○ ○○

代表者の職名も
忘れずに記入

該当する事業
の記号を記入

1 事業の概要

事業名	○○地域子ども食堂開設事業
企画提案の内容 (民間団体のみ) ※実施要領3 (1) アの (ア) ~ (キ) のうち該当する記号を記入してください。	オ
<p>(1) 事業の目的</p> <p>※現状を踏まえ、事業の必要性等を具体的に記載</p> <p>○年○月に○町で実施した「○○実態調査」において、生活困窮世帯は○%となっており、学習塾に通えない、体験が少ない、地域との関係が希薄である、食べ物や衣服の購入を我慢しなければならないなど、子ども達の生活が困難な状態にあることが明らかとなった。生活困窮世帯の子どもは1人で過ごす時間が長く、孤立する傾向にあり、自己肯定感や自立に必要な体験、人とのつながりや交流などが不足していることが課題となっている。</p> <p>そこで、子どもや家庭に必要な支援を届ける仕組みづくりの一つとして、学校や家庭以外の第三の居場所「○○地域子ども食堂」を開設する必要があると考える。</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>※事業内容に加えて、新型コロナウイルス感染症対策を併せて記載</p> <p>「○○地域子ども食堂開設事業」</p> <p>名称：○○地域子ども食堂</p> <p>設置場所：○○郡○○町○○字○○1-1</p> <p>建物概要：○○会館調理室・研修室 (使用料 3,000円/日) 利用可能な面積 50㎡</p> <p>開催日時：開設予定日 令和4年11月5日 (土)</p> <p>毎月第一土曜日 10時~15時 (※夏休みや冬休み期間中は、毎週土曜日開催予定)</p> <p>利用料金：子ども (高校生まで) は無料、大人300円/日</p> <p>取組内容：子ども達には、配膳や片付けを手伝ってもらう。</p> <p>過ごし方は、子ども達の自主性に任せる (宿題、外遊びなど)。</p> <p>季節の行事を併せて行う (夏祭り、クリスマス、餅つき、節分など)。</p> <p>ボランティアによる学習支援を行う。</p> <p>公開連絡先：電話 024-○○-○○○○</p> <p>メール ○○○@○○.○○.jp</p> <p>その他：新型コロナウイルス感染症対策として、参加者の体温と連絡先の記録、マスクの着用、定期的な換気、アルコールによる手指消毒など、基本的な感性防止対策を行う。</p> <p>(3) スケジュール</p> <p>令和4年8月1日 (月) 調理器具、食器等の購入開始</p> <p>令和4年8月22日 (月) ~ チラシ印刷、配布</p> <p>令和4年9月 3日 (土) プレオープン1回目</p> <p>令和4年10月1日 (土) プレオープン2回目</p> <p>令和4年11月5日 (土) 第1回○○地域子ども食堂開催 毎月第一土曜日開催</p> <p>令和5年2月 4日 (土) 第○回○○地域子ども食堂開催 (令和4年度最終回)</p>	

事業着手日は令和4年
7月15日以降とする

2 事業実施によって期待される効果、成果

これまで町内に無かった家庭や学校以外の第三の居場所として子ども食堂を開設することで、子ども達が安心して過ごせる居場所を提供することができる。

また、子ども食堂の参加者のうち、困難を抱える子どもやその保護者を早期に把握することができ、行政等の適切な支援機関へ繋ぐことができる。

このほか、子ども達を中心に幅広い世代を受け入れることで、地域の方々が子どもたちと交流する機会が増え、地域の方々が子どもたちを把握でき、子ども達に困りごとがあった場合でも手助けできるような機運が醸成される。

3 事業の実施運営体制

(1) 事業実施に必要な運営体制等

※人材確保・組織体制の状況、今後の計画など

事業に関わるスタッフ：代表 ○○ ○○

副代表 ○○ ○○ (社会福祉士資格有)

スタッフ ○○ ○○ (管理栄養士資格者有)

ボランティア登録者数 ○○人

今後、町社会福祉協議会等に相談し、ボランティア登録者数を増やしていく。

(2) 現在行っている活動との相乗効果

※現在の活動等で当事業の実施に役立つノウハウがあるなど

当団体では、子ども食堂のほかに、困難を抱える子どもの支援を行っている。

また、スタッフの中には、社会福祉制度に詳しい社会福祉士資格保有者がいる。

もし、養育環境に困難を抱えている家庭があれば、その相談に対応することができるほか、行政などの適切な支援機関に繋ぎ、必要な支援を届けることができる。

(3) 他の団体との連携

※今後の計画を含む

ふくしま子ども食堂ネットワークや近隣の子ども食堂から、運営のノウハウを習得する。

また、町社会福祉協議会や民生児童委員、自治会からの協力を仰ぎ、参加者を取り込むほか、困難を抱える子どもや保護者を支援する体制を整える。

加えて、○○地域保健所を訪問し、食品の衛生管理について助言を受ける。

4 事業の公益性

(1) 事業の対象者の範囲

対象者については、○○郡○○町に居住している未就学児から高校生までの子ども達とその保護者を基本とするが、子ども食堂を多世代交流の拠点とするため、高齢者など幅広い世代の参加を促していく。

また、「子ども食堂は生活困窮世帯の子どもが行くところ」などと誤解されないよう、全ての子どもを対象としている点を積極的に広報する。

なお、事前に予約があれば、町外からの参加も認めることとする。

(2) 想定している対象者数

1回当たり30名の参加を想定している。

町教育委員会や町役場の協力を得て、小中学校の全ての児童生徒にチラシを配布するほか、町広報誌への掲載やチラシの回覧により全家庭への周知を行う。

子ども食堂を開催する中で、需要があると見込まれる場合には、定員を増やすことも検討する。

5 事業実施後の継続性、発展性

※補助事業終了後の事業の継続性や次年度以降の展開について、財源の見通しと併せて記載

- ・ふくしま子ども食堂ネットワークに加盟して、支援情報や運営のノウハウ等の習得を行う。
- ・地域の農家の方々から、月に1度、米や野菜等の寄付を受ける予定となっている。
- ・一般財団法人ふくしま未来研究会や共同募金会、その他民間団体からの助成金を積極的に活用するほか、SNSやホームページを通じて、個人や企業から寄付を募る。

記載不要

6 事業継続の必要性（過去に採択された事業に限り記載）

- (1) 事業実施による効果や成果をどのように評価しているか
※実績をもとに具体的に記載（どのような目標値を設定して、実績値とかい離している理由をどのように分析しているか等）
- (2) 評価した結果を踏まえてどのように事業の見直しを図ったか

7 事業における他の補助金等の活用の有無

※有の場合は、その補助金等名を記載

・ 無

補助金等名【 一般財団法人ふくしま未来研究会「子ども食堂」広告協賛金助成 】